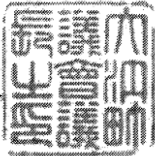




大議発第20号
令和8年5月28日

大江町長 松田清隆 殿

大江町議会議長 宇津江 雅 人



一般質問について（通知）

来る6月4日からの令和8年第2回大江町議会定例会において、下記のとおり質問がある
予定ですので、あらかじめ通知いたします。

記

質問者	質問事項	質問の要旨
<p>土田 勸 一 【一問一答質問】</p>	<p>大江町空き家バンク について</p>	<p>「大江町空き家バンク」について、提言し町長に伺います。</p> <p>令和8年3月16日に「地域おこし協力隊」の活動報告会が中央公民館で開催されました。7名の方から1人10分とし、進行もスムーズに進み隊員一人ひとりの役割が違うことからメリハリがハッキリし大変良かったと思っております。</p> <p>また、新たな新鮮さを感じられ「地域おこし協力隊」が重要視されている要因の一つと改めて受け止めさせて頂きました。</p> <p>町の「空き家バンク」のチラシに変化が起きております。これまでに無い斬新なチラシが登場いたしました。それは「大江町空き家バンク 温泉に近い物件特集！」と「大江町に住むと温泉がお得?!」のチラシであります。「分かり易く楽しい」これまでに無い最高のチラシと言っても過言ではありません。</p> <p>「空き家」を、お持ちの方は高齢者が多くペーパーによるチラシとポスターや口コミによるPRが不可欠で、今の「高齢化社会」に合致しているチラシではないでしょうか。今後も町内外の方々に愛されるチラシづくりにチャレンジして頂きたい。そうしますと「大江町空き家バンク」の間口が広がり理想的なように、発展し明るい見通しが見えて来るのではないのでしょうか。</p> <p>令和7年度「大江町空き家バンク」の成約実績は17</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>件。大江町は全国でもトップクラスの実績を上げております。また、今年度の4月だけで成約件数は2件となっております。また、引き続き新たなチラシが作られました。それは「大江町空き家バンクに相談しよう!」です。漫画で表現し分かり易い内容になっておりまして、見て読んで楽しいチラシとなっております。</p> <p>地域おこし協力隊さんには「大江町空き家バンク」を発展させ「空き家対策日本一の大江町」を目指し頑張ってもらいたいし期待しております。「エール」を送りたいと存じます。</p> <p>全国的に「空き家」は増え続け大きな課題になっていることは御承知の通りであります。我が「蛍水住宅団地」について申し上げますと、27年経過し核家族化と少子高齢化が進み「空き家」が増えておりましたが、ここに来て全国的な資材や人件費の高騰などから新築するよりも、築30年未満の中古物件を求めているようであります。したがって売り物件の看板を設置しますと、短期間で売れる状況であります。</p> <p>また「大江町空き家バンク」登録物件を「新規就農者」さんにより売買・賃貸が成約されますと新たに「新規就農者住宅」を建設する必要がなくなり一石二鳥であります。それには「新規就農者」と「おしんの会」の皆さんとの連携が必要不可欠であり「エール」を送りたいと存じます。</p> <p>最後となります。</p> <p>我が町は多くの宅地を造成し住宅団地を造って参りましたが、住宅建設は「大手ハウス会社」が80%強を占めている現状から提言するものです。</p> <p>第1に、大きな課題ですが弊害となるものが無ければ「大江町空き家バンク」登録を更に発展させるため「大手ハウス会社」と契約し提携すべきであります。</p> <p>第2に、年1回「道の駅おおえ」で「大手ハウス会社」を対象に「大江町空き家バンク」フェア・説明会を開催すべきであります。</p> <p>第3に「大江町空き家バンク」登録を更に発展させ「空き家対策日本一の大江町」を目指し「チャレンジ」すべきであります。</p> <p>以上、3件「大江町空き家バンク」について提言し町長に伺います</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
関野 幸一 【一問一答質問】	町内の公共交通の 在り方は	<ul style="list-style-type: none"> <p>・町営バスの今後の運行路線は 本町においては、以前より町営バス・乗合タクシーが、町内の事業所の協力を得ながら運行されています。町営バスに関しては、町内の東西を結ぶ大江西川線を、柳川温泉から出発し左沢市街地を走りながらテルメ柏陵を結ぶ路線であり、町民の足として利用されております。開設当時のそれぞれの路線から、時代の流れにともない、数回路線の変更を行ってきました。しかし、路線に関しては現在も、多く町民の方々から路線の変更を望む声が上がっているのも事実であります。まずは、あえて言わせてもらいますが、交通弱者の多い地域などの乗り入れをどのように考えているか伺いたい。</p> <p>・乗合タクシーの運行エリア拡大は 乗合タクシーにおいても、町内全域での対応でないため、多くの人がいる旧左沢地区・藤田地区の町民は、医院や買い物に行くときなど、乗合タクシーではなく、通常のタクシーを利用しなければなりません。当然のことですが、乗合タクシーの200円の利用料金ではなく、通常のタクシー料金になります。路線バスとの係りを考えると、なかなか難しいかもしれませんが、町民の方々と同じように利用できるようにしていくことが必要と思うが、どのように考えているのか伺いたい。</p> <p>・新たな公立病院への、交通機関の考えは 2031年度の開院を目指している、「公立さがえ西村山医療センター（仮称）」までの町民の方々の通院手段として、これまでのように寒河江市立病院までの山交バスの料金の補助を新たな公立病院にもしていくのか、大江町単独で通院のための交通手段を考えているのか、また、朝日町や寒河江市と連携して公共交通機関として運行していくのか、考えをお聞きしたい。</p>
	町内の防犯体制は	<ul style="list-style-type: none"> <p>・町内の防犯について抑止力も含め、どのように考えているのか。現在では、防犯カメラは必要。 以前にも、何度か質問をしましたが防犯カメラの必要性について再度町長の考えを伺います。</p> <p>・通学路の街灯・防犯灯は十分か 先般、大江中の体育館側の町道の街灯・防犯灯に</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>ついて、冬期間日没が早くなり、また、町内でも熊の出没報告が増える中、中学生が帰宅するのに暗く危険ではないかと担当課に相談したところ、早急に対応していただき、子どもたちも安心して下校できるようになりました。他にも、通学路や中学生の通学路に関しても、保護者の意見や再度職員が目視で確認するなど、子どもたちが、安心・安全で登下校できるよう街灯や防犯灯の整備についての考えは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左沢駅前ロータリーに街灯や防犯灯の設置を 現在、左沢駅を利用する高校生の大半が家族の方からの送迎で利用しているのは町長も知っていると思います。冬期間は当然ですが、夕方になると子供たちを待っている間車を止めている駅前のロータリーは照明や街灯もなく防犯上はもちろんですが、車同士のトラブルにもなりかねません、以前にも街灯などは必要ではと質問しましたが10年たっても変わっていません、人の集まる公共施設です、町長はどのように考えているか伺います。
<p>安食 幸治 【一問一答質問】</p>	<p>大江町の高齢化社会問題の心配</p>	<p>大江町における高齢者の単身、夫婦2人家庭における「家庭ごみ」の収集問題です。</p> <p>皆さまご承知の西村山広域行政事務組合での、家庭ごみの収集は、燃やせるごみが一週間で2回、缶、ビン、ペットボトル、燃やせないごみの収集日が月に1度であります。そこで今も、これからも心配なのが、核家族化、超高齢社会が進む時代における、家庭ごみの収集問題です。</p> <p>そこで、下記の2点について質問します。</p> <p>1、1週間に2回の「燃やせるごみ」日の収集場所問題</p> <p>町内の各集落内には、数か所の収集場所があるが、高齢者世帯では遠いところもあり、ごみを持参することが困難であり、冬季の積雪時には更に輪をかけて困難であり老老介護世帯も町内において多数あり、夏季においては臭い、虫発生の問題も出てくる。ご近所の協力もあると思うが限界がある。そこで、ヘルパーさんを頼んでいる家庭等ではヘルパーさんが訪問時に、ごみを収集日に関係なく回収出来るシステムを構築する必要があるのではないか。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>2、収集箱の形態の問題</p> <p>ごみの収集箱については数種類あり鉄製で溶接されて、常時常設されているもの、物置型、金網で折り畳み出来るもの、収集日当日に生ごみ袋に直接かけるネットなどがあり、特に左沢町内では重要な文化的景観の家庭や商店街もあり、ネット型が多いと思われるが、ネット型は当日しか出せないのが高齢者世帯の負担になっている。ネット型以外は収集日の前日に、良くはないと思うが、ごみを出す世帯の老若を問わずあるのも事実であり、現在の社会生活においては、昔からの習慣になっている。しかし近年、全国都市中心部においても熊のアーバンベア（都市型熊）化が進み出没や目撃が多くなる中で、海外や北海道のある町では「生ごみ」の問題も注目されております。また最近では、町内にいる猫の避妊、去勢手術助成のおかげで、野良猫数の減少により生ごみをあらず件数は減ってきておりますが、代わりに学習したカラスによる被害が増加してきております。これからのネット型ごみの収集による鳥獣被害についても、考えていく必要もあると思うが上記の2点について町長の考えを伺う。</p>
	<p>大江町消防団の装備充実を</p>	<p>全国で最近増加している大規模山林火災が、この大江町でも4月22日、正午ごろに小見地区の大山自然公園付近の山中でありました。当時は、風が強く延焼拡大が懸念されましたが、県と宮城県の防災ヘリコプター2台が上空から散水。広域消防、町消防団員の皆さまによる懸命な消火活動により、午後7時ごろに無事鎮火状態となりました。</p> <p>我が大江町では、年々消防団員が減少して、山形県内でも最小の団員数となっております。まさに少数精鋭で町民の生命、身体、財産を守ってくださっております。</p> <p>そこで、今回の森林火災を踏まえ大江町消防団の森林火災時の装備充実を求めるものであります。</p> <p>1、小型軽量で水利から火災現場の近くまで持ち運びできる現在、町消防団に1台を装備している小型動力ポンプ「C-1」の台数を増やす。</p> <p>2、水利のない火災現場で団員が消火する、ジェットシューター「背負式消火水のう」の数を増やす。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>以上の装備の充実、拡大をとおして近年、多発する大規模森林火災時の大江町消防団の戦力増強すると思うが、町長の意見を伺う。</p>
<p>藤野 広美 【一問一答質問】</p>	<p>防災無線の音声は適時に的確に</p>	<p>今年の3月18日、大江町左沢地内で大きな火災が発生しました。火災は10時55分頃に出火し、11時2分頃に消防に連絡が入ったとお聞きしております。</p> <p>また、4月22日 12時47分頃に小見地区大山公園付近で山林火災が発生しました。</p> <p>3月18日の火災が発生した日は左沢小学校の卒業式の日で、式が終了して体育館を出た際に、今まで見たことのない黒い煙が直ぐ近くから垂直に立ち登っていて恐怖を感じたことを覚えております。</p> <p>私が自宅に戻る途中で、防災無線からサイレンが流れたと記憶しております。</p> <p>今回火災が発生し、通報するまでに間があったため、広域消防に連絡が入るのが遅くなったということをお聞きしております。119番に通報があり、大江分署と役場に連絡が入り、防災無線から警報が出されたものと思います。町職員で消防隊員になっている方は、黒い煙を察知して、火災発生の通報がなくとも直ぐ現場に駆け付けたという話を聞き、機敏な任務遂行に敬意を表するものであります。</p> <p>今回の火災で町内に職場があり、いざという時に直ぐに火災現場に出動できる消防隊員が少なかったのではないかと、改めて感じました。</p> <p>13時頃、私が近くの県道を通った際に、町道との交差点に進入禁止のバリケードを設置しているのを見かけましたが、この対応も遅いと感じたところです。</p> <p>この火災発生後に町民の方から私に、「火災の時は、防災無線で適時に的確なアナウンスでお知らせすることが必要ではないか。行政の対応がなっていないと感じる」という厳しい意見をいただきました。</p> <p>この意見は、行政側の次の対応に対してであります。</p> <p>町民の方の意見と私の考えも入れて、次の質問をさせていただきます。</p> <p>①火災発生時刻から防災無線で警報が出されるまでのタイムラグはどれ位あったのか。</p> <p>②行政で防災無線から流す情報は「どこどこで、火災が発生しました。消火活動に支障をきたします</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>ので、近づかないようにご協力をお願いします」というような内容を、警報と同時的確なアナウンスで流すことが必要であると感じます。今回の火災時は、火災場所についての警報アナウンスは出されたのでしょうか。</p> <p>③林野火災注意報発令のお知らせ等はオーディオ処理のフィルターをかけた音声で、遅い口調で何を言っているかわからなく聞きづらいという声も多いので、この点については改善策が必要と感じます。</p> <p>以上、町長はどのように考えるかお伺いします。</p>
<p>大沼清人 【一問一答質問】</p>	<p>最上川舟唄の町外普及への公的支援について</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町の宝：「最上川舟唄」は大江町のアイデンティティであり、郷土愛の核 ● 最上川保存会の尽力：町内（幼・小）での継承活動に加え、町外への普及に尽力 ● 資金の限界：活動費は「会費」と篤志家の「寄付」のみ。ボランティアによる遠征費（交通費等）が近い将来枯渇する <p>【戦略的視点：関係人口の拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 貴重な接点：「東京おおえ会」等での披露は、郷土出身者との絆を深める絶好の機会。 ● 経済波及：出身者は「ふるさと納税」や「特産品購入」を支える重要な関係人口である。 ● 投資効果：舟唄の披露は、町のブランド力を高め、将来的な税収や経済振興に寄与する。 <p>【教育・継承の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちの誇り：郷土の唄が町外で高く評価される姿を見せることは、子供たちが「ふるさとへの誇り」を醸成するために不可欠。 ● 断絶の恐れ：経済的制約で派遣を断念すれば、首都圏との長年築いた普及の火が衰える可能性も。 <p>【提案と質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外部向け位置づけの更なる強化：単なる「伝統保存」から、町の「プロモーション・交流事業」へと明確に定義し直すべき。 ● 公的支援の創設：保存会の自助努力のみに委ねるのではなく、遠征費等の公的支援を検討すべきではないか。

質問者	質問事項	質問の要旨
	楯山城跡へ木造櫓の設置を	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の見解は： 持続可能な支援体制の構築こそが、文化を守り、大江町をアピールするための「未来への投資」と考えるが、見解を伺いたい。 <p>【前提：大江の至宝】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一級の価値： 国指定史跡「左沢楯山城跡」は、隣接する「日本一公園」から見る絶景と並ぶ、本町が誇る歴史的財産。 ● 整備の現状： 町はこれまで、歴史を体験できるように散策路や案内板の整備を推進してきた。 <p>【現状の課題：回遊性の欠如】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「宝の持ち腐れ」： 日本一公園の来見者は多いが、隣の楯山城史跡まで足を運ぶ人は極めて少ない。 ● アイコンの不在： 史跡が「単なる山」に見えてしまい、一般客の関心を惹きつけるシンボル（視覚的な目印）が存在しない。 ● イメージの限界： 案内板だけでは、当時の城郭の構造や歴史的迫力を体感するには不十分。 <p>【戦略：歴史の「見える化」】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シンボルの創出： 史跡内に、当時の構造を考証した「木造見張り櫓」を設置。 ● 好奇心の喚起： 遠方からも視認できる「櫓」を建てることで、日本一公園からの強力な誘導動線を創出する。 ● 歴史体験の向上： 視覚的なアイコンにより、子供たちや観光客が当時の防衛の考え方や歴史を直感的に学べる場にする。 <p>【提案と質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保護と活用の両立： 国指定史跡の制約を踏まえつつ、文化庁と粘り強く協議し、設置に向けた一步を踏み出すべきではないか。 ● 観光の相乗効果： 「絶景の日本一公園」＋「歴史の見える楯山城」を一体化させ、AR（拡張技術）も含め大江町の観光力を飛躍的に高めるべきでは。 ● 教育長の決断： 史跡を「保存」するだけでなく、未来のために「活用」する意欲について、教育長の見解を伺いたい。

質問者	質問事項	質問の要旨
<p>櫻井和彦 【一問一答質問】</p>	<p>・大江町にスーパーマーケットの誘致を</p>	<p>田舎におけるスーパーマーケットの存在意義は、単に食料品や日用品を販売するだけではなく高齢化・人口減少が進む地域において「生活の生命線」である食インフラ、つまり買い物弱者支援や地域住民の交流の場であり、地場産品の食文化を守るハブとして、生活と地域コミュニティを維持する極めて重要な役割を果たしています。</p> <p>ところが、我が大江町にはスーパーマーケットが一軒もないと言うのが現状です。</p> <p>高齢者が多いこの町では、買い物弱者・買い物難民と呼ばれている人が多くいることを町長は本当に知っているのでしょうか。</p> <p>日々の生活をするために必要な食料品や日用品をどのような大変な思いをして確保しているのか。</p> <p>そこで提案です。町長の手腕と知恵そして今まで築いてきた太いパイプを十分に発揮して、大江町にスーパーマーケットを誘致していただきたい。そして買い物困難者の多い地域に住んでいる高齢者の人たちを何とか助けてあげてください。</p> <p>場所としては、みなみ団地・きらりタウン美郷・パークタウン・蛍水団地 この4つの団地の中心付近です。</p> <p>長年にわたり役場職員として培ってきた経験、そして副町長を経て町長となったその手腕を期待しております。</p>
<p>廣野秀樹 【一問一答質問】</p>	<p>消防演習等における国旗掲揚環境整備について</p>	<p>今年も開催された、大江町消防団による春季消防演習は、地域防災を担う消防団員の士気高揚と、防火・防災意識の向上を図る重要な公的行事であります。</p> <p>現在、会場となっている大江町中央公民館駐車場においては、国旗掲揚用ポールが設置されておらず、仮設による簡易な対応となっているため、正式な国旗掲揚・降納が行われない状況であります。</p> <p>国旗掲揚は、公的式典における厳粛性の確保のみならず、消防団員をはじめ参加者の起立意識や郷土愛、使命感を高める意識を有するものと考えます。</p> <p>そこで、以下について、伺います。</p> <p>1、公的行事会場の中央公民館などに国旗掲揚ポールが設置されていない現状について、町としてどのように認識しているのか伺います。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
	<p>住宅用火災警報器の普及促進と助成制度創設について</p>	<p>2、消防演習をはじめとする公的行事において、国旗掲揚環境を整備することは、消防団員の士気向上や式典の厳粛性確保に資するものと考えますが、町の見解を伺います。</p> <p>3、今後、中央公民館への常設または簡易可搬式などを含めた国旗掲揚設備の整備を検討する考えはあるか伺います。</p> <p>近年、全国的に住宅火災による高齢者などの死傷事故が後を絶ちません。 特に、夜間の逃げ遅れによる被害は深刻であり、住宅用火災警報器の設置は、命を守るための極めて有効な手段であります。 しかしながら、総務省消防庁の調査によれば、我が山形県住宅用火災報知器設置率は、令和6年6月時点で全国43位と極めて低い状況にあります。 我が町においても、高齢化率は極めて高い水準にあり、高齢者のみ世帯や独居世帯、さらには空き家なども増加しております。 住宅用火災報知器が、設置されていない住宅や、設置後10年以上経過し電池切れ等で正常に作動しないケースも懸念されております。 そこで、以下について、伺います。</p> <p>1、現在の大江町における住宅用火災警報器の設置状況をどのように把握しているのか伺います。</p> <p>2、高齢者世帯や独居世帯や町民へ普及促進について、消防署、消防団、自治会、民生委員など連携した訪問啓発や点検支援などを強化すべきと考えますが、町の見解を伺います。</p> <p>3、高齢者世帯等を対象とした住宅用火災警報器の購入費や設置費を助成する自治体もあります。 大江町でも、防災・減災対策の一環として助成制度などを創設すべきと考えますが、町長の考えを伺います。</p>
<p>菊地 邦弘 【一問一答質問】</p>	<p>学校教育の未来像をどう考えているか</p>	<p>全国的に少子高齢化が急速に加速する状況で、本町でも児童生徒数の減少は深刻な課題であり、学校の在り方や教育環境の抜本的な見直しと対応が迫られていると考える。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>松下電器の創設者である松下幸之助氏は、「国家百年の計を立てて国づくりをしたら日本は、これからとてつもなく繁栄する」と松下政経塾で塾生諸君に熱く語り続けた。別の言い方をすれば、国家百年の計は教育にありといえる。百年先を見据えた長期的なまちづくりの繁栄には、目先の政策や制度ではなく、未来を担う人材をじっくり育てることが不可欠であるともいえる。我々に課された最大の課題であり、使命でもある。</p> <p>まさに、大江町教育行政の百年後を見据えて対応すべきである。</p> <p>令和9年ににじいろ保育園の閉園、令和10年には、左沢小と本郷東小の統合。さらに令和15年に小中一貫校の設置が計画されている。次代を担う子供たちの教育環境をどのように整備しようとしているのか。教育百年の計を見据えて、今こそ考えて行動すべきである。次代を生き抜く子供達には、より質の高い多様な学びの場と環境が必要である。小中一貫校の推進と教育環境の施設整備にあたって、次の点について町長と教育長に考え方を伺いたい。</p> <p>(1)施設整備と財政について</p> <p>左沢小学校の整備は昭和61年で築40年、体育館については、平成21年に改築されている。本郷東小学校は平成4年に改築され34年。一方、大江中学校は、町内の3つの中学校を統合し、昭和51年に開校している。実に50年の歳月が流れている。小中一貫校の整備については、「新築(施設一体型)」か「既存利用」かの選択は、財政面だけでなく、教育環境や地域への影響も少なからず出てくるのではないかと考える。コスト面、教育環境、利便性・安全安心への配慮などを考えた場合、財政負担と教育百年の計をどのように判断し推進しようとしているのか。</p> <p>既存施設利用と新築(場所の選定を含む)の基本的な考え方について、まだ先のように考えがちではあるが、方向性を打ち出すタイミングを逃したら、先に進まないと考える。</p> <p>町長の見解を問う。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>(2)小中一貫校の教育理念について 小中一貫校は、どのような教育理念の中で推進されるのか。学びや成長の醸成にどのように還元されるのか。ソフト面(教育の質)、9年間、一貫した学習理念と学習指導・生徒指導のあり方等どう模索するのか。教育長の所見を問う。</p> <p>(3)子供たちの小中一貫校への不安解消について 小中一貫校のスタートに際して、近年社会問題となっている不登校、いじめ問題の解消に不安はないのか。また、小学校と中学校の区割りは必要でないのか。さらに、子供相談体制は、どのように整えていくのか。教育長の所見を問う。</p> <p>(4)小中一貫校の教員の負担軽減と専門性(教育の質)を高めるサポート体制はどのように捉えているのか。教育長の所見を問う。</p> <p>(5)小中一貫校で過ごす9年間のメリットを活かし、具体的な学年行事や活動だけではなく、県教育振興計画にある、社会の中で交流し(意欲・興味・感心)自ら選択し学びあうイメージはどのように考えているのか。以上教育長の所見を問う。</p>
	<p>かわまちづくりに民間投資を検討してみてもどうか</p>	<p>舟運時代、百目木地区は最上川の舟着場として栄え、上杉藩の塩蔵が聳え立ち、屋形船が川面に浮遊し、築場が景観を助長するなど賑わいを呈していたといわれている。誰もが知る「最上川舟唄」が生まれたのも必然的だったと思われる。国が選定した重要文化的景観の重要な要素となっていることは、頷けるところである。</p> <p>しかし、集中豪雨の影響で幾多の苦難を強いられてきたことも事実である。特に、令和2年と4年の浸水被害が甚大で、堤防設置の機運が高まり、国の支援を受けて堤防設置が進んでいる。家屋移転も順調に進んでいる。</p> <p>町は、河川空間の利用を目的とした「かわまちづくり」に取り組んでいる状況にある。川辺を機能別で4つのエリアに分けた計画(案)を8月に国土交通省への計画登録を目指すと聞いている。</p> <p>堤防完成後の整備は町が担うことになり、言うまでもなく百目木地区は、国道287号から町に入る</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>玄関口でもあり、町民が憩い、関係・交流人口をつくる場として、新たな観光の目玉に活用すべきと考える。</p> <p>親水空間の創出を図るうえで、都市計画の縛り、財政問題、公共空間の在り方を模索する意味でも民間資金やノウハウを導入する「パーク PFI」公募設置管理制度事業を活用してはどうか。この制度は、2024年末全国で182か所導入され、現在165か所で検討されていると聞いている。</p> <p>明確な戦略と強い発信力を持ち「選ばれる地域」を創出すべきと考えるが、町長の所見を問う。</p>